



まつかぜ

松之木小だより

児童数：371名

令和7年度

11月号

八潮市緑町三丁目9番地1

996-1377



2学期も折り返しです

校長 須賀 裕之

去る11月1日に秋季大運動会が行われました。早朝より、保護者の皆様、地域の皆様方に見守られ、盛大に開催できました。心より御礼申し上げます。

さて、今週水曜日の全校朝会では「言葉を大切に」という話をします。折り返しとなった残りの2学期も、引き続き心がけて欲しいことです。一部を掲載いたします。



「こだましようか	金子みすゞ
「遊ぼう」というと	「遊ぼう」というと
「馬鹿」というと	「馬鹿」というと
「遊ばない」というと	「もう遊ばない」というと
「遊ばない」というと	「遊ばない」というと
「さみしくなつて、あとで、そなうして、	「さみしくなつて、あとで、そなうして、
「ごめんね」というと	「ごめんね」というと
「ごめんね」というと	「ごめんね」というと
「いいえ、誰でも。こだましようか。」	

(中略)金子さんのこの詩は「こだま」のことだけを書いているのでしょうか。ちがいますね。「こだま」のことだけではありません。詩の最後に、「いいえ、誰でも」とあります。同じ言葉を返すのは、「こだま」だけでなく、人間だって同じなのだということを、金子さんは伝えたかったのだと思います。

友達から「ばか」と言われれば自分だって、「ばか」と言い返したくなるかもしれません。自分が相手に嫌な言葉をかければ、相手も嫌な言葉で返すこともあります。反対に、自分がやさしい言葉をかければ、相手もきっとやさしい言葉を返してくれるでしょう。みなさんは、日頃、どんな言葉を言っていますか。友達や家族は、あなたにどんな言葉をかけてくれますか。もし、自分が友達から嫌な言葉を言われ、傷つくことがあった時は、あなた自身も同じようなことを友達に言ってないか振り返るチャンスです。

言葉は、人を励ましたり、元気づけたり、幸せにすることもできますが、人を深く傷つけたり、落ちこませたりもします。ぜひ一度、自分の使っている言葉について考えてみてください。

○去る10月28日(火)に「第2回学校運営協議会」を開催いたしました。頂いた貴重なご意見は今後の学校運営に生かして参ります。ありがとうございました